

第2回「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関わる医療・ケアの質と経営の質」講習会のご案内

〈日程〉2019年11月29日（金） 〈会場〉ベルサール田町（東京都港区芝浦3-12-7）

2018年度の診療報酬改定では、地域包括ケア病棟入院料・入院管理料1および3の施設基準や在宅患者支援病床初期加算の算定には、それぞれACPを踏まえた看取りに関する指針の策定と、それに基づく意思決定支援が要件となりました。看取り指針の策定は行っても、在宅患者支援病床初期加算の算定に困難を感じることはないでしょうか。

当協会が昨年6月に実施した「2018年度地域包括ケア病棟の機能に関するアンケート」の調査結果を見ると、各医療機関は戸惑いながらも真摯にACPを用いた意思決定支援の啓発に取り組んでいる様子がうかがえました。しかし、その具体的な方法論の構築については、これからというのが実情でした。

当協会は、地域包括ケア病棟における入退院支援・調整に関して、Person Flow Management（以下PerFM）＝「患者を生活者の視点でとらえ、病院と地域を一体と考えて、切れ目ない医療介護を提供する」という考え方を提唱しています。この考え方に基づいた「リハビリ・NST・認知症ケア・ポリファーマシー対策を包括的に提供する入退院調整」と「アドバンス・ケア・プランニング（以下ACP）を基本とする入退院支援」は重要です。

そこで、昨年に引き続き、PerFMの視点から、「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関わる医療・ケアの質と経営の質」講習会を企画いたしました。ACPの基本と取り組み方について理解を深めることを目的としています。各医療機関の現場で実践される意思決定支援が、自院で策定したACPに基づく看取り指針を遵守しつつ、診療報酬の請求にもつながるように、気付きを共有できるプログラムといたしましたので、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

プログラム：総合司会 仲井培雄（地域包括ケア病棟協会 会長）

10:30	基調講演①「地域包括ケア病棟におけるPerFMについて」 仲井培雄（地域包括ケア病棟協会 会長、芳珠記念病院 理事長）
10:40	基調講演②「本当のアドバンス・ケア・プランニングとは？」 濱野 淳（筑波大学附属病院 病院教授・医療連携患者相談センター部長）
11:40	「地域基幹病院における意思決定支援・ACPの実践：外来からできること+再入院を意識してできること」 川島 篤志（市立福知山市民病院 総合内科 医長 / 研究研修センター長）
12:40	（昼食休憩）
13:20	「認知症の人を支えるアドバンス・ケア・プランニングの作り方」 田中志子（地域包括ケア病棟協会 理事、内田病院 理事長）
14:10	「施設での看取りで大切にしていること」 小谷洋子（カーサプラチナ みなとみらい 看護主任）
15:00	「ACPグループワーク」
15:20	（休憩）
15:30	「ACPと診療報酬」 中林 梓（株式会社ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役）
16:00	全体討論
16:30	終了

お申し込みについて

定員	150名（先着順）
会場	ベルサール田町 3F ROOM4・5 東京都港区芝浦3-12-7（JR田町駅東口より徒歩4分） https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shinagawa/bs_tamachi/access/
参加費	会員 8,000円/人（地域包括ケア病棟協会会員病院にお勤めの方） 非会員 18,000円/人 *どちらも昼食代を含みます。
申込締切	2019年11月15日（金）まで延長*定員に達し次第、受付を締切ります。
申込方法	入力フォームに必要事項を記入し、webでお申し込みください。
主催	一般社団法人 地域包括ケア病棟協会 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9F （株）毎日学術フォーラム内 TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555 ホームページ： https://chiiki-hp.jp/